

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	産業安全工学総論	
科目基礎情報							
科目番号	0019			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業技術システム工学専攻（共通専門科目）			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	實川 資朗,大槻 正伸,原田 正光,霜田 宜久,芥川 一則						
到達目標							
①現場での作業によって引き起こされる被害をイメージできリスクマネジメントが行える。							
②システム安全工学（FTA, FMEAなど）を理解し、実践できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	各工業分野で、現場における事故・災害の防止対策および発生時の対応策について具体的に事例を交えて学習する。また、労働安全、労働災害統計等、安全工学の基本的な事項を理解し、リスクマネジメントシステムを理解し、実践できるようにする。						
授業の進め方・方法	定期試験の成績を70%、課題および小テストの成績を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	担当者によって、課題提出を支指示する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	概論		自然災害と産業安全		
		2週	事例研究①		災害統計、安全評価、		
		3週	事例研究②		失敗学と安全工学 信頼性、人間工学		
		4週	事例研究③		飛行機事故		
		5週	事例研究④		鉄道事故、輸送関連事故とヒューマンエラー		
		6週	安全設計①		原子力と安全（1）		
		7週	安全設計②		原子力と安全（2）、原因分析（FTA,ETなど）		
		8週	安全設計③		製品安全		
	4thQ	9週	安全の実践①		法と安全確保（産業ロボット、原子炉の安全規制）		
		10週	安全の実践②		水資源とリスクマネジメント		
		11週	安全の実践③		水道とリスクマネジメント		
		12週	安全の実践④		リスクマネジメントと技術者倫理（1）		
		13週	安全の実践⑤		リスクマネジメントと技術者倫理（2）		
		14週	安全の実践⑥		安全管理活動（K Y, OHSAS18001）		
		15週	総括		総括		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0